

## 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」全体会議 会議録

- 1 開催日時 令和5年3月16日(木)18:00~19:30
- 2 開催場所 広島市中区地域福祉センター5階 大会議室
- 3 出席者 出席者名簿のとおり(委員23名、オブザーバー8名、関係課7名)
- 4 傍聴人 0人
- 5 議題 (1)「元気じゃけんひろしま21(第2次)」最終評価報告書について  
(2) 令和5年度「元気じゃけんひろしま21(第2次)」の推進体制について  
(3)「元気じゃけんひろしま21(第2次)」推進に係る取組について

### 6 発言要旨

区分	発言要旨
事務局	<b>【議題1】</b> ・資料1に基づき説明
副座長	ただ今の事務局説明を受け、意見や質問はないか。
委員	意見・質問無し
副座長	では、「元気じゃけんひろしま21(第2次)」最終評価報告書について、承認いただいたということでしょうか。
委員	全員承認
事務局	<b>【議題2】</b> ・資料2に基づき説明
副座長	ただ今の事務局説明を受け、意見や質問はないか。
委員	意見・質問無し
副座長	では、「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」全体会議委員の任期延長について、承認いただいたということでしょうか。
委員	全員承認
副座長	<b>【議題3】</b> まずは、参考資料1を基に、本日出席の委員から各団体・機関における取組のうち、特に力を入れている取組について紹介いただきたい。
委員	令和5年4月に安佐北区可部の安佐市民病院跡地に安佐医師会病院を開院する。そこを中心に、地域包括ケアシステムを充実したいと考えており、健診にも取り組んでいく。若い人や高齢者も含め、住民が安心して住める地域にしたいと考えている。
委員	会員向け研修会を積極的に開催しており、歯科衛生士自身の資質向上に取り組んでいる。すべての世代に対応できる歯科衛生士の人材育成に取り組んでいきたい。
委員	新型コロナの影響により、対面の食事相談等の件数は少なくなっている。 基本方針2に関して、広島県から委託された子どもと保護者の健康づくりとして、これまで対面により調理実習や講演等を行っていたが、令和3年度に新型コロナの影響により中止になったことから、令和4年度は動画を作成した。今後、当会のホームページに掲載できるよう準備をしている。 令和5年度は、8月4日の「栄養(えいよー)の日」に、低栄養予防のための間食等に関する情報発信など行う予定である。

委員	<p>令和4年度は、新型コロナの影響で実施できなかったが、令和5年度は、各区民まつり等を活用した啓発を行うとともに、「やく薬フェスタ」において、がんや高血圧、糖尿病などに関する啓発を行っていききたい。また、「薬局へ行こう」プロジェクトとして、処方箋がなくても薬局で健康相談を受ける取組を行う予定である。</p>
委員	<p>虫歯や残存歯数はおおむね目標を達成しているが、歯周病有病者率の評価が悪い。ここ数年で節目年齢歯科健診の対象年齢に45・55歳が追加されたことから、より一層の受診率向上に向け、市民への啓発について、行政や歯科衛生士会と協力しながら努力していききたい。</p> <p>また、口腔機能低下について、超高齢社会においては、従来の虫歯や歯周病と同様に重要になってくることから、オーラルフレイルの予防について取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>当センターは、県内すべての企業や働く人の心と体の健康づくりの支援をしており、働き方改革実行計画に基づき、企業の人事労務、産業保健スタッフの支援をしている。</p> <p>健康寿命の延伸のためには、働く世代からの健康づくりの積み重ねが重要であり、当センターが支援できる部分もあると感じている。</p>
委員	<p>当商工会議所は、地域の企業や個人事業主などの経済団体として、会員が9,000人いる。コロナ禍で事業継続が厳しい中、経済が回復していく際に、人手の確保が大きな問題となってくる。その中で、経営者や従業員が健康であることが、経済活動を行う上での基本的で重要な要素であり、企業においても、健康に目が向いている。こうした中で、行政や関係機関が行う健康経営のセミナーやイベントの周知を、会員事業所に向け行っており、令和5年度も引き続き、健康経営について、地域の企業に伝える役割を果たしていききたい。</p>
委員	<p>高齢世代について、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知を行っているが、令和5年度から第14次労働災害防止計画が始まり、その中で、高齢労働者の体力向上のための取組を行うことになっている。協力をお願いしたい。</p>
委員	<p>当連合会は、組合健保の集まりである。事業主と一体となって、従業員と被扶養者の健康の維持増進に努めており、また、連合会として、組合への支援を行っている。働く世代の被保険者が対象の中心となる。企業にとっても、従業員に健康な状態で元気で働いてもらうことが重要であり、健康経営とも相まって取組を進めているところである。特に、特定保健指導については、指導するだけでなく、本人の自発的な行動変容に繋がっているか、効果を検証しながら引き続き進めていきたい。</p> <p>高齢世代については、前期高齢者の訪問健康指導を行っている。</p>
委員	<p>健診をきっかけに健康づくりをすすめていききたいと考えており、「健康づくりの好循環」の定着のために、様々な視点から事業を行っている。令和4年度は、特定保健指導で270事業所に保健指導者が伺った際、対象者には個別支援として健康づくりの話をするとともに、事業所の担当者とも面会し、健康づくりの取組の働きかけを行っている。</p> <p>令和5年度も多くの事業所に取組を働きかける予定である。</p>
委員	<p>当連合会は、市町国保が行う保健事業が円滑に実施できるよう取組を行っている。令和4年度は、特定健診の受診率向上に向けた広報に特に力を入れた。市町国保の特定健診の受診率は依然として低い状況であり、広島東洋カープの協力を得て、受診勧奨ポスターを公共交通機関に掲示するとともに、県医師会・県薬剤師会の協力を得て、県内医療機関・薬局に掲示を依頼した。</p> <p>特定健診の受診率向上は、すべての医療保険者に共通する課題であるため、本会が事務局を務める保険者協議会において、県内医療保険者全体の取組として、Webを活用した広報など、受診率向上に向けた取組を今後も継続する予定である。また、県などとも連携し、好事例の情報共有にも努めていきたい。</p>
委員	<p>当協会では食品衛生責任者の衛生講習会を開催しており、その中で、生活衛生や環境衛生について伝えている。また、食品衛生指導員による食品事業所への巡回指導を行っているが、特に、健診や検便検査を受診していない個人事業者が多いため、健診受診や検便検査の重要性を伝えている。</p>

委員	健康管理センターでは健診業務を、健康科学館では市民への健康教育を行っている。基本方針1について、がん検診と特定健診の同時開催を増やすとともに、昨年度から実施した夜間健診についても引き続き実施した。また、協会けんぽ被扶養者を対象とした健診等を実施し、受診者数も多かった。
委員	最終評価報告書において、身体活動・運動の評価が低く、コロナ禍において、子どもから高齢者までの身体機能の低下が危惧されている。県においても同様だと聞いている。令和5年度は、座位行動、いわゆる座りすぎについて、積極的に取り組む予定である。
委員	令和4年度は、「with コロナ」を掲げて取組を行ってきた。取組の中でレクリエーションの重要性を再認識したところである。令和5年度も、引き続きレクリエーションを通して市民と関わっていきたいと考えている。
委員	新型コロナの影響により、毎年行っていた研修会が実施できていなかったが、令和4年度は、オンデマンド形式で実施予定である。また12月末に、市が共催するラジオ番組に出演し、タバコの害や禁煙について周知を行った。その他、様々な機会を捉えて、スモークフリーピンバッジを配布している。
委員	地域でのスポーツ・レクリエーション活動の振興を目的として、スポーツ推進委員を各小学校区に2～4名配置しており、推進委員の資質向上を目指し、研修会を行っている。令和4年度には初めて、NPO法人ひろしまレクリエーション協会から講師を招き、レクリエーション・サポーター研修を実施した。令和5年度は、普通救命講習の実施を計画している。
委員	当連合会としてウォーキングの取組をテーマとしている。コロナ禍により、高齢者の体力・気力が低下しており、これらを一刻も早く取り戻すために、会員誰でも取り組むことができ、一人でも簡単にいつでも取り組めるウォーキングで健康づくりを行っていくことに決め、11月頃から推進している。その際には、市のウォーキング認定制度を活用している。12月には、市連合会において、ウォーキング研修会を開催し、各区から参加があった。現在、各区において、取組の輪が広がりつつある。取組が進んでいる単位クラブにおいては、「ウォーキング部」を立ち上げ、市のウォーキング認定制度を使うとともに、高齢者いきいき活動ポイントのポイントデーを作って活動しており、ウォーキングの機運が盛り上がっている。令和5年度は全区に広げていきたいと考えている。
委員	東区における取組を中心に紹介することとなるが、まず、受診率向上の取組として、区医師会とも協力し、かかりつけ医で健診を受診し、高齢者いきいき活動ポイントももらう取組を行っている。 地域共生社会の実現に向けた先駆的な取組として、防災をテーマに新たなコミュニティ・ネットワークを立ち上げ、区医師会を始め様々な団体が加わっている。ゆるやかなネットワークで、様々な人と意見交換をしながら地域社会を作り上げていくことが、社協の目標である。
委員	健診サポーター養成講座を広め、健康診査やがん検診の受診率向上の後押しを行っている。同時に、高齢者の健康づくりのための健康教室を開催している。しかし、令和4年度は、新型コロナの影響により、活動が出来ないことも多かった。令和5年度は、平常時に戻ると信じ、これからも活動を進めていきたい。
委員	女性の健診受診率が低いため、受診奨励を行っている。コロナ禍の中ではあったが、いきいき100歳体操やウォーキングなどを進めてきた。今後も、啓発活動を進めていきたい。
委員	民生委員児童委員は主に住民へ情報提供を行う等、専門機関とのパイプ役を担っている。ここ数年は、ニーズに応じたリーフレットをポスティングすることしかできなかった。令和4年度に入り、少しずつではあるが、対面での健康チェック等が出来るようになり、高齢者には、自分の健康状態をチェックできるチェックシートが好評であった。 令和5年度には、在宅高齢者訪問事業を実施するが、健康状態が変化した高齢者が多いのではないかと危惧している。
副座長	続いて、市の取組について事務局から報告いただきたい。

事務局	・参考資料2に基づき報告
中区	<p>中間見直しにおいて、地域保健と職域保健が連携した取組を重点課題としており、中区では、職域保健への取組として、連携の希望があった26事業所のうち、14事業所に対し、出前講座や情報提供を実施した。</p> <p>出前講座の内容や実施方法、時間帯については、事業の希望に沿って実施した。労働安全体制は、従業員の規模によって異なり、いわゆる零細企業となる従業員50人未満の企業では、健康教育はもちろん、健康診断もままならず、健康経営に至るまでの支援は困難であった。働く世代への働きかけは、企業に合わせてきめ細かくニーズを聞きながら、アプローチする必要があると感じた。健康経営は、大きな企業の方が取り組んでいるが、小さな企業については、保健センターが得意とする、健診受診や様々な健康課題に関する知識の普及など、草の根の活動を行っていく必要があると感じている。</p>
副座長	<p>色々な団体で、多彩な取組が実施されている。新型コロナの影響で従来の取組が非常に行いにくい状況だったと思うが、新型コロナの流行も新しい段階に入り、コロナ以後をどのように乗り越えて、新しい取組につなげていくタイミングになっていくと思う。</p> <p>また、取組を聞いて、様々な専門領域の団体間で協力し合うつながりが進んでいると感じた。つながりを活かしながら、より一層広島市の健康寿命が延びるよう取組が進むことを期待したい。</p>
事務局	<p>本日の議事は全て終了した。円滑な会議進行に御協力いただき、感謝する。</p> <p>次期計画の策定に向けて、また、計画の最終年度に向けて、引き続き、健康づくりの取組の更なる推進に御協力いただきたい。</p>